

俳人でもある東大元総長

岩壺克哉

元東大総長であり著名な物理学者であった有馬朗人氏は一方ではまた著名な俳人であられた。(阪大物理学名誉教授 都福仁氏の紹介)



アインシュタインとか銀河、地球などの語があり、さすが物理学者。

漱石の脳沈みある晩夏かな  
猫の子のどう呼ばれても答へけり  
天狼やアインシュタインの世紀果つ  
初明り銀河系字地球かな  
生も死もひよいと来るもの返り花  
ソラダ水巴里に老いたる女かな  
いづこにも龍ある国の天高し  
揚雲雀ガリア戦記の山河かな  
鞆轡を漕ぎ永遠を論じけり  
ごろすけほう観音さまが生まれるぞ  
あの窓に父の魂魄夕桜  
さつと手をあげて誕生仏となる  
山を裂き銀河へ迫り行く黄河  
地球といふ大いなる独楽初日の出  
初日射す流転の山河それぞれに

釘抜地藏血よりも赤き冬紅葉  
大釜に先づ祈る僧大根焚  
夕暮に吹く口笛や綿虫に  
既に晩年和む綿虫手に包む  
寒施行与へ山雀放ちたる  
寒施行ひげ立てて来るこきぶりに  
父彫りし木魚の燃ゆる寺の火事  
若き日の釈迦像の笑み笹鳴けり  
子規漱石の落書消され日脚伸ぶ  
初鶯大日如来の輝きに  
家康の隠れし洞や春の闇  
夭折の父の写経や涅槃変  
クノソスの迷路を照らしクロッカス  
公魚を掬ふや残る月白し  
荒城の残月斜め春寒し